

科目名		情報社会論(Social Information Management)							
学 年	学 科(コース)	単 位 数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第5学年	経営情報学科	学修	1 単位	選択	講義	前期 100 分/週	45 時間		
担 当 教 員		【非常勤】田村 敬志 (【副担当】内田 保雄)							
学 習 到 達 目 標									
科目の到達 目標レベル	<p>情報社会の概要を把握させる。情報化が与える影響に関しては経済、法律の分野より検証する。また情報化に関し、企業、行政、情報産業、海外の動向等につき現状・今後の動向に関し事例を交え説明する。</p> <p>情報化の現状及び情報社会の方向性を理解し、情報業界で活躍する上で求められる姿を認識できるようにすることが到達目標である。</p>								
学習・教育目標	(F)③④	JABEE基準1(2)			(b)				
関 連 科 目 , 教 科 書 お よ び 補 助 教 材									
関連科目									
教科書	なし								
補助教材等									
達 成 度 評 価 (%)									
評価方法	中間 試験	期末・ 学年末 試験	小テスト	レポート	口頭 発表	成果品	ポート フォリオ	その他	合計
指標と評価割合									
総合評価割合		70		30					100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】		◎		○					
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】				◎					
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と 創造的思考力 【 】									
学 習 上 の 留 意 点 お よ び 学 習 上 の 助 言									
<p>レポートを課す。 参考資料を別途配布する。</p>									

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	情報とは	情報の定義、データ、知識の違いについて理解し、説明できる。	第1回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
2	情報社会とは	情報化社会へと発展し、様々な恩恵を受けている反面新たな問題も発生していることを理解し、説明できる。	第2回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
3	情報社会の経済(1)	情報社会が経済に及ぼす影響について理解し、説明できる。	第3回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
4	情報社会の経済(2)	情報社会が経済に及ぼす影響について理解し、説明できる。	第4回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
5	情報化と法律(1)	情報化と規制・保護の現状について理解し、説明できる。	第5回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
6	情報化と法律(2)	情報化と規制・保護の現状について理解し、説明できる。	第6回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
7	企業の情報化(1)	企業における情報化の取組について理解し、説明できる。	第7回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
8	企業の情報化(2)	企業における情報化の取組について理解し、説明できる。	第8回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
9	行政の情報化(1)	行政における情報化の取組について理解し、説明できる。	第9回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
10	行政の情報化(2)	行政における情報化の取組について理解し、説明できる。	第10回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
11	情報産業	情報産業の現状について理解し、説明できる。	第11回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
12	ソフトウェア技術	開発技術の現状について理解し、説明できる。	第12回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
13	海外の動向	海外における情報化の取組について理解し、説明できる。	第13回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
14	今後の動向	近未来の情報化の方向について理解し、説明できる。	第1回～第14回で取り上げた内容の復習を行ない、試験に備える。
期 末 試 験			
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	
総 学 習 時 間 数			45 時間
講 義			25 時間
自学自習			20 時間